

安心・安全なお産を信州で



[調査・活動報告と提案]

日本共産党長野県議団

安心して子どもを生み 育てられる長野県に



日本共産党長野県議団

団 長 石 坂 ち ほ

ここ数年の間に、長野県でも、お産のできる病院が、急速に減っています。

私たち日本共産党県議団は、いち早くこの問題を取りあげ、県の責任ある対応を求めて知事への申し入れや議会質問をするとともに、厚生労働省の担当者とも懇談、申し入れを行ないました。上田市産院をはじめ安曇野や下伊那地方での産科の存続・充実を求める関係者の願いや思いもお聞きし、病院長や産科医、助産師の皆さんとも懇談してきました。

私たちは、産科医の確保対策とともに、産科の医師不足という現状の解決策としてばかりでなく、本来の自然なお産の姿を取り戻すことも大切であることに着目し、出産に対して助産師の果たす役割に、改めて光をあてるべきであると提案し、助産師外来や院内助産所に対する県の支援や予算措置もされることとなりました。しかし、その後も産科の廃止は続き、ついに、県立須坂病院も2008年4月からのお産の受け入れ休止を表明する事態となっています。

これ以上、お産のできる病院を減らさないで、安心して子どもを生み育てられる長野県にするために、いま必要なのは、医師と助産師の連携の強化、行政のいっそうの支援と県民の知恵、世論の力ではないでしょうか。このパンフレットが、その一助になることを願っています。

2007年12月

人間らしいお産の保障を

日本共産党長野県議団の調査と取り組み

2005年秋～2007年秋

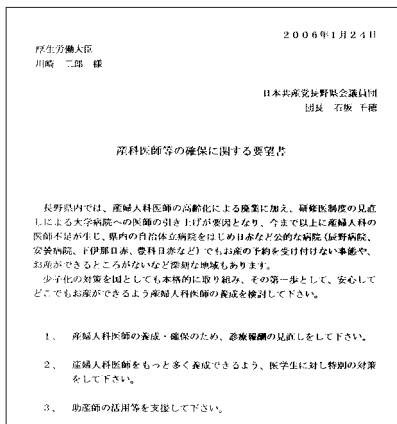
2005.11.30

上田市産院の存続を求めて地元のお母さんたちと副知事と懇談、申し入れ



2006.1.24

厚生労働省へ産科医師の確保について要請、要望書の提出



2006.2.16

助産師中心のお産と家庭的な産後ケアが好評の鹿児島県助産師会の「中央助産院」の視察



鹿児島中央助産院のスタッフと党県議団一同

2007.9.13

須坂病院の産科の継続、県内産婦人科の課題などについて衛生部長と懇談





2007.8.7

飯田市立病院に
産科問題の調査に行く

2007.8.7

お産ができなくなった
下伊那赤十字病院で懇談



2007.10.23

助産師の活用について神奈川
県看護協会長らと懇談

2007.10.30

長野中央病院長らと産婦人科
開設について懇談



2007.11.8

県看護大（駒ヶ根市）の実習棟で
清水教授から説明を聞く

長野県議会本会議での質問と答弁（要旨）

2005年（平成17年）～

共産党県議団の質問

知事または衛生部長の答弁

2005年2月議会

・県内の産院や産婦人科病院の現状と、閉鎖や廃止の原因をどうとらえているか

・臨床研修2年の義務化、医師の高齢化、女性医師（の就業環境）などの問題点がある

・病院・産院の連携強化、医師の高齢化、女性医師への支援などについて、対策の強化を

・医療体制、人材の確保のあり方などを検討する「協議会」を来年度早々に立ち上げたい

2005年12月議会

・上田市産院の存続の危機などについて、一連の医師不足は問題点解決の糸口は

・市側から具体的な提案をしていただきたい

・産婦人科医師養成について、国への働きかけを強めるべきではないか

・ご指摘のとおり。全国知事会の要望にも明記される見込み。国に働きかけを強める

・助産師の果たしている役割にもっと光を当て、助産所での出産も奨励すべきではないか

・ご指摘はもっとも。ただ、正常産に関することに限定。法的に、嘱託医を置く定めがあり

共産党県議団の質問

知事または衛生部長の答弁

2006年2月議会

- ・どこでも安心してお産ができるよう、現在検討している方向と対策について

- ・体制作りは早急な課題。県立こども病院が一般的な産科診療を行うことも使命にかなう

- ・産前・産後ケア、育児訪問などを行っている助産師の活動を、子育て支援事業として検討する時期に来ているのではないか

- ・今後、子育てサロン事業などへも参画をしていただく

2006年9月議会

- ・助産師の活用や院内助産所などの開設支援を繰り返し提案しているが、現状の把握は？ 県として、今後どのように支援していくか

- ・県内で助産師が528名就業。助産師外来14施設、院内助産所開設はないが、H19年4月に浅間病院で開設予定、他に1施設を検討中

- ・安心してお産のできる環境作りを、子育て支援の重要課題として取り組むべきでは

- ・少子化対策の根幹をなすことはご指摘のとおり。産科・小児科医療対策検討会で議論を

共産党県議団の質問

知事または衛生部長の答弁

2007年2月議会

・産科医師不足の緩和策として、助産師を活用することに対する課題と県の支援策は

・院内助産所や助産師外来は有効だが、医師のバックアップが不可欠

・医療の集約化に安易に走らないでいただきたい。助産師の活用に一層の光を

・新たに助産師支援検討会を設置し、支援策の検討、研修会を開催する

2007年9月議会

・地域産科診療の閉鎖が進み、中核病院への医師集約化で、安心・安全なお産は保障されるか

・深刻な事態と受け止めている。関係団体が連携して地域全体で取り組んでまいります

・医師不足のもと、病院勤務医の過剰な負担の軽減こそ必要ではないか

・事実上ある程度集約化が進んでいる現状を踏まえ、最後の砦となるべき拠点を一つでも確保しようというのが提言の考え方

・上田市産院では助産師を増やすことにより、より安全で自然なお産への援助に努めている
・閉鎖した診療所での助産所開設や、地域での助産所開設支援を検討すべき。全国の先進モデルになってはどうか

・助産師支援検討会を、7月に設置し、助産師の支援や連携強化策の検討、院内助産所や助産師外来などの普及に向け研修会を開催する

共産党県議団の質問

知事または衛生部長の答弁

・「地域医療対策協議会」に、助産師の代表を加えていただきたい

・助産師の代表を加えることを、検討させていただきたい

・産科医療機関の集約化は、山あいの集落が点在する長野県には、なじまないのではないか

・深刻な医師不足の中でのひとつの方向性を示したものである

・「助産師支援検討会」で、どのような話し合いがなされ、課題となっていることは何か

・助産技術に関する研修など、支援策の検討等、2回開催。課題としては医師との連携、最新技術の研修の必要性あり

・妊婦健診無料化のために市町村に補助できるようにしていただきたい

・県費による助成は困難

・須坂病院は須高地区で唯一分べんを扱ってきた。医師確保と併せて、正常産は助産師の力を借り、ハイリスクの場合は近隣連携強化病院にもお願いし、院内助産所の開設を検討して

・新たに産科医を確保できれば院内助産所の開設に向けての検討も可能になる。医師確保に向けて全力で取り組む

県内のみなさんの運動がすすんでいます

上田市産院・バースセンター

上田市産院が存続の危機を迎えた05年夏から秋、お母さんたちを中心に短期間で10万筆近い署名を集め、お産の継続ができるようになりました。

07年7月に発足した「安心してお産と子育てができる地域を作る住民の集い」では9月22日、助産師が中心になって地域でお産を支える「バースセンター」をテーマに講演会とシンポジウムを開催、11月末には「バースセンターの開設を求める請願書」を4万6千人余の署名を添えて市議会に提出しました。



須坂市

産科医の不足により08年4月から県立須坂病院がお産の受入を休止するとの方針が出され、地元のお母さん達は9月5日「地域で安心して子ども産み育てることができることを望む会」を結成、9月26日には「産科医の確保」を求める署名約4万人分と要望書を村井知事に、県議会に

は請願書を提出しました。

その後も県の担当者呼んで学習会を開くなど、産科医の確保・助産師の活用・地域の医師との連携等、安心して暮らせる地域づくり目指して運動を進めています。

自然で安全なお産の普及のため、(社)日本助産師会長野県支部では助産師が正常なお産を担えるための資質向上の研修会開催など、支援をしています。



(社)日本助産師会長野県支部長
保谷ハルエさんと懇談
（「助産所ほやほや」にて）

豊 科

安曇野赤十字病院では、産婦人科医師不足から06年4月から出産受入を休止しましたが、「安曇野赤十字病院産婦人科の存続を願う会」の会員らが3万3千人分の署名を集めるなどして市議会などに常勤医師の確保を要請、06年12月から「助産師外来」を開始し、医師の負担軽減を図り、07年4月からは助産師を増やして、当面は正常分娩に限りお産の受入が再開しました。

下伊那

下伊那赤十字病院の産科存続を求め「心あるお産を求める会」の皆さんは06年3月に5万人近くの署名を県と県議会に提出、4月には日赤本社を訪れて、産婦人科医・小児科医の確保等を要請しました。

駒ヶ根

駒ヶ根市内の子育てサークル13団体の連絡会は9月26日、「安心して安全なお産ができる環境を考える会」の設立を決め、今後勉強会を続け、医師負担を軽減するための助産所活用など、情報発信に取り組むことになりました。（07年9月28日付 信濃毎日新聞より）

みなさんと力をあわせて がんばります

石坂 ちほ [長野市区選出]



小林 伸陽 [上伊那郡区選出]



少子高齢化の進行は日本社会の深刻な課題と言いながら、自公連立政権は医師の大幅削減を推し進め、その結果地域医療の崩壊を招いています。産科、小児科医は激減し、お産をするところも無くしています。今こそ安心して暮らせる社会をめざし、皆さんと力を合わせがんばります。

藤沢 のり子 [松本市区選出]

いつでも、どこでも安心してお産ができる、そして新しい命の誕生を心から祝福できる社会づくりは県政にとっても待ったなしの課題です。

お産を支える体制作りと費用負担の軽減など皆さんとご一緒に取り組んでまいります。



高村 京子 [上田市・小県郡区選出]

新しい命を産み出す営みが豊かに迎えられるよう、妊婦さんも医師も助産師も応援する長野県をめざしましょう。



もうり 栄子 [岡谷市・下諏訪町区選出]

「今日孫が生まれた」「やっと子供ができた」そんなお話をうかがうたびに思わず頬がゆるみます。新しい命の誕生ほど嬉しいことはありません。安心して子供を産み育てることができる長野県に。

びぜん 光正 [塩尻市区選出]

医療現場での経験をもとに、医師確保対策の充実強化を何度も取り上げてきました。国の医療費抑制政策が先進諸国に類を見ない医師・看護師不足などの深刻な状態を引き起こしています。安心安全なお産ができる長野県を築きましょう。



和田 あき子 [長野市区選出]

私も4人の子どもを産んだときの感動は忘れられません。

命の誕生のとき、命の輝きを心から祝福できる環境をととのえるために、これからも皆さんと一緒にがんばります。

信州で、安全・安心なお産をするための 「緊急提案」

- I 助産師の専門性を活かし、その力を最大限に発揮してもらう
 - (1) 助産所での分べんに行政の支援を
 - (2) 院内助産所の開設・増設を
 - (3) 助産師のエンパワーメントのための、研修の実施

- II 産婦人科医師の養成・確保に繋がる「診療報酬の見直し」と、勤務医の過重な勤務実態の改善、医師などの人員増の実現

- III 妊婦健診に要する経費の「全額公費負担」実施

- IV 女性医師等の働きやすい環境の整備
 - (1) 勤務医などの労働時間の短縮と、ワークシェアリングの導入
 - (2) 病院内保育所の整備に対する、国や地方自治体の支援
 - (3) 在宅有資格者が職場復帰をするための「研修制度」の充実

- V 医療事故などの原因究明と再発防止のための「第三者機関」の設置と、無過失保障制度の確立



表紙は、三ツ井遙音（はるね）ちゃん（生後1か月半）と母親の三智子さん

長野県内でお産のできる施設 (2007.11.30現在)

病院・医院・助産院等	連絡先	病院・医院・助産院等	連絡先
厚生連佐久総合病院	0267-82-3131	波田総合病院	0263-92-3027
佐久市立国保浅間総合病院	0267-67-2295	相澤病院	0263-33-8600
厚生連小諸厚生総合病院	0267-22-1070	丸の内病院	0263-28-3003
産科婦人科花岡医院	0267-22-0437	穂高病院	0263-82-2474
音々助産院	0267-32-8900	桔梗ヶ原病院	0263-54-0012
国立病院機構長野病院	0268-22-1890	わかばレディース&マタニティクリニック	0263-45-0103
上田市産院	0268-22-1573	横西産婦人科	0263-40-4103
上田原レディース&マタニティクリニック	0268-26-3511	ドゥーラハウスこじま	0263-33-6553
角田産婦人科内科医院	0268-27-7760	よしみ助産院	0263-27-2751
しのはら助産院・母乳育児相談室	0268-62-2982	助産院ウテキア二	0263-82-6676
市立岡谷病院	0266-23-8000	まつば助産院	0263-91-1167
諏訪赤十字病院	0266-52-6111	市立大町総合病院	0261-22-0415
諏訪マタニティクリニック	0266-28-6100	たんぼぼクリニック堀口産婦人科	0261-62-6210
野村ウィメンズクリニック	0266-24-1103	長野赤十字病院	026-226-4131
医療法人青木医院	0266-52-0649	県立須坂病院	026-245-1650
あおぞらレディース&マタニティクリニック	0266-54-4103	厚生連篠ノ井総合病院	026-292-2261
平岡産婦人科	0266-72-6133	厚生連松代総合病院	026-278-2031
伊那中央病院	0265-72-3121	医療法人慈恵会吉田病院	026-241-5952
昭和伊南総合病院	0265-82-2121	中澤産婦人科病院	026-234-0788
医療法人福島病院	0265-79-2071	中川産科婦人科医院	026-241-4135
幸助産院	0265-83-0264	丸山産婦人科医院	026-226-4484
野ノ花助産院	0265-82-5205	村井産婦人科	026-221-1103
助産所ドゥーラえむあい	0265-78-0413	産科婦人科矢嶋医院	026-259-0555
さくらこ助産院	0265-73-8353	板倉レディースクリニック	026-291-0707
飯田市立病院	0265-21-1255	清水産婦人科	026-219-3838
椎名レディースクリニック	0265-22-0304	助産所ほやほや	026-296-0777
医療法人羽場医院	0265-28-5151	飯山赤十字病院	0269-62-4195
県立木曾病院	0264-22-2703	厚生連北信総合病院	0269-22-2151
長野県立こども病院	0263-73-6700	医療法人保倉医院	0269-22-5000
信州大学医学部附属病院	0263-35-4600		

資料提供：医療政策課



ご一緒に力を合わせて、願いを実現しましょう!

安心・安全なお産を信州で

2007年12月 発行

日本共産党長野県議団

〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会
☎ 026-237-6266 (直通) ♫ 026-237-6322
ホームページ <http://www.avis.ne.jp/~up/>
E-mail jcpngkd@avis.ne.jp

ご意見・ご要望をお寄せください。